＝日中経済交流＝

元気の出る事業

南富士産業㈱社長 杉山定久 氏

日系に中国人管理職紹介

今月から本コラムで、中国で多彩な事業をてがける企業を紹介する。第1回は静岡県三島市の南富士産業の杉山社長に「中国での人材活用」の真髄を紹介願う。日経ビジネス新春号の同社の特集記事が大きな反響を呼んでいる。

―中国との関係は

26年前から中国各地の大学や図書館に本の寄贈を続けている。また、武漢大学（武漢）や中山大学（広州）に客員教授として招聘され「ビジネス」を講義している。03年からは武漢大学などで学生にビジネスを体験させる「学生創業工作室」も立ち上げた。北京大学や清華大学を除く中国の上位校と交流し効果をあげている。これらはボランティアでやっている。

ビジネスでは中国進出企業のサポート業務を展開しており、上海事務所を設置、昨年10月には上海に人材紹介の万克徳商務諮訊（上海）有限公司を設立して、日系企業への管理職候補紹介や不振企業の再生事業を本格化している。

―中国で人材ビジネスを始める契機となったのは

中国進出の日系企業は人材への投資が少なく、人材育成がおろそかであることに注目した。日系企業で人が辞めるのも総経理に問題がある。ビジネスの訓練を受けた学生を企業に紹介し、経営問題で悩む企業に副総経理級の人材を紹介して、期限を切って再建に協力する。これらの会員サービスは有料だが、日本人1人の経費と比較すれば決して高くない。現在、会員は50社に達した。

―中国事業でのポイントは

創業者の父から事業を引き継いだ後、「健康と暮らし」を追求する中で、屋根と外壁工事を業界トップに成長させ、八角形住宅設計販売や中国茶輸入販売事業を立ち上げた。八角形住宅は当時23歳の女性社員が提案、中国茶は新卒の女性に企画から販売まですべてまかせて成功した。人はチャンスを与えれば伸びる。この理念を中国でも開花結実させる。時代のニーズを引き出し、それを事業化する戦略は世界共通である。

―今後の事業の発展方向は

武漢政府の人材基地建設に協力している。高級管理職候補を含む200万人が登録されており、アジア各国への中国人管理職派遣事業も始まった。

自治体や大学、金融機関などの要請でセミナー講師を年80回以上つとめ、人材活用や経営理念を伝えている。

南富士産業㈱

設立年：1944年8月
創業：1970年12月
代表者：杉山定久
資本金：9800万円、年商：40億円、従業員：100人
住所：静岡県三島市萩65―1、TEL：055―988―8810
業種：①屋根外壁工事②住宅（特許八角形住宅、フィンランド住宅）③オリジナル中国茶輸入販売④中国進出企業支援ビジネス
中国：万克徳商務諮訊（上海）有限公司、南富士産業㈱上海事務所（上海市漕渓路250号銀海大楼A412号）
著書：「これからの中国ビジネス」（プレジデント社04年12月発行）「よく気がつく人は、よくデキる人」「仕事で遊ぶ社員が会社を強くする」など多数